



大城 保 議員

### 台風6号被害について

**質** ピーク時、村内80%の4790世帯が停電し多くの方が不便な生活を強いられた。今後も猛烈な台風が発生し長期的な停電が起こる可能性もあります。自ら停電に備える電源確保の啓発、周知をやるべきだと思いが。

**答** 総務課長（宮平 寛）

発電機、ポータブル電源は有効的に使えると思っています。各家庭において電源の確保は今後重要となると思います。分かりやすいような形で広報できたらと考えています。

**質** 恩納村地域防災計画では、風害による停電については触れていない。長期停電を想定した訓練も防災の中に組み込む必要があると思いが。

**答** 総務課長（宮平 寛）

今回の教訓を生かし、地域防災計画



山田 政幸 議員

### 台風6号による被害状況と支援・避難所について

**質** 村内7か所に備蓄倉庫が設置されていますが非常食以外に入っているものを伺う。

**答** 総務課長（宮平 寛）

発電機、毛布、飲料水、簡易トイレ、カセットコンロ、非常食用のガス窯、簡易ベッド等、あとは日常生活3日分を備えるぐらいの備蓄が用意されている倉庫となっています。

**質** 今回のように台風の影響が長引いたことにより、非常食や電源の確保が困難な場合、村の備蓄倉庫にある非常食や機材で対応できないか伺う。

**答** 総務課長（宮平 寛）

台風に関しては進路も含めて、事前に分かる事なので、各自準備していただきたいということでの案内はしてい

の中に組み込んで今後の訓練も含めて対応していく必要があると考えています。

**質** 仲泊地内の路面が崩れて県道が数日間通行止めになり路線バスや地域住民に影響がありました。この箇所は、3回同じような状況にあります。抜本的な改修が必要だと思いが。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

今後の対策として排水の末端部分の補強や、別の放流先の変更も検討し建設課と工法等について協議を行っています。

### 前兼久漁港関連施設整備について

**質** 関連施設整備の全体計画を伺う。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

観光ダイビング客等を対象とした駐車場、公園施設、海洋レジャー客向け便益機能施設、用品等の整備を予定しており、事業期間は令和4年度から令和8年度を予定しています。

**質** 駐車場の供用開始予定、指定管理の選定はどのように考えているのか伺う。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

ます。もちろんそれでも足りない場合にはこの備蓄食料、備蓄飲料水、そういったものは活用します。

**質** 福祉避難所を必要とする対象者について社協や福祉事業所、また医療関係との連携はどのように取られているのかを伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

福祉避難所の対象者については災害時用支援者対象者名簿を活用しています。また介護福祉事業所からも適宜情報提供をいただくなどして対象者への対応をしています。現時点で医療機関との連携はありませんが、日常的に在宅医療機器を使用している方においては、直接かかりつけ医などの医療機関や医療機器メーカーと相談して調整、対応をしています。

**質** 医療的ケア児（者）は医療機器を使用して生命を維持している。停電が長期化すると生命を脅かす危機的状況に陥ってしまいます。対応できる設備の考えを伺う。

**答** 福祉課長（石川 司）

福祉避難所は、これからの整備について協議をしているところです。その中で医療的ケアに対応できる医療機関との連携であったり、介護施設との情報共有であったりということが出てきます。簡易的な医療器具の電源を確保することや、介護士や相談員の人

工事検査完了後に供用開始を行う。当面の間は無料開放を予定、施設整備事業完了後に有料化を検討し、指定管理の選定は前兼久、仲泊、富着3字の意向を確認し、進めていきたい。

**質** 全体計画が終わらないと指定管理に移行しないのか、3字の調整がついたら、駐車場一部を先立って指定管理するのか。

**答** 農林水産課長（平安名 盛常）

事業の同時並行で指定管理の選定を行っていききたい。

### 全国学力テストについて

**質** 村内の学力テストの結果どのような状況なのか伺う。

**答** 学校教育課長（仲村 泰弘）

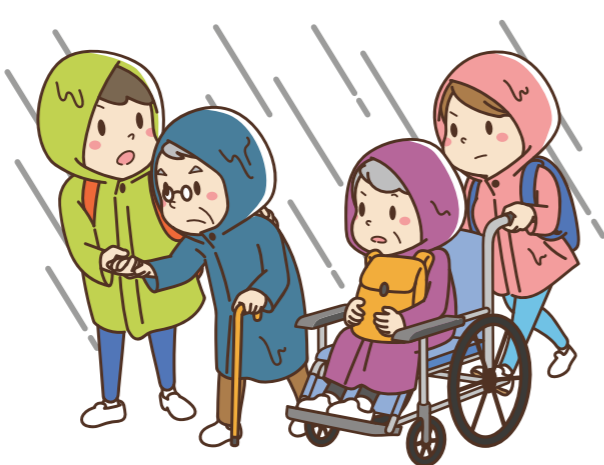
小学校は国語、算数ともに全国水準の結果となっており、中学校では国語、数学、英語の3教科が県平均並みとなっています。

**質** 結果を受けて今後の課題、施策等があれば伺う。

**答** 学校教育課長（仲村 泰弘）

各学校にて詳細な分析を行って課題の洗い出しと対策、立案等を進めている段階であり、今後、管理職研修会等、進捗状況を確認して、指導、助言に努め

的配置などは村社協と、福祉避難所との協定の中で示していければと考えています。次年度に向けて予算等の内容を詰めて、財政当局と整備費等を計上して提案・協議を調整していきたいと思っています。



### 休校となった喜瀬武原小学校の活用について

**質** 休校から1年半が経過しました。活用に向けた現在の取り組み状況を伺う。

ていきたい。

**質** 学力テストの結果を公表している自治体、否定派もいる。教育長の思いを伺う。

**答** 教育長（宜志富 清博）

公表はなくてもいいと思います。現在は個別に学力を伸ばすという視点で施策は進んでいる。社会に出て活用できるように教育はシフトしています。これまでの学力も必要、新たな社会に通用する学力というのと同時に追求していきたい。



**答** 学校教育課長（仲村 泰弘）

現段階での活用の取り組みについては、学校教育課のほうで施設の有効活用について情報収集をしているところです。

**質** 活用に向けて検討委員会の設置と、構成員の配置をどのように考えているのか伺う。

**答** 学校教育課長（仲村 泰弘）

現状が休校の状態であり、活用に向けての委員会の設置、構成員は白紙の状態です。

**質** 今後の活用に向けた取り組みを伺う。

**答** 学校教育課長（仲村 泰弘）

当初の予定では、令和5年度廃校に向けて取り進む予定でありました。地元喜瀬武原区民に対して丁寧な説明を行った上で理解していただくために、令和5年度の廃校は見送ることとなりました。学校教育課としては、喜瀬武原区の施設の有効活用に向けて説明会を開催し、その後12月定例会におきまして議員の皆様へ喜瀬武原区説明会の状況と有効活用に向けた議案の提案ができればと考えています。